



真に実効性のある 「流通改善」に邁進

(一社)日本医薬品卸売業連合会 会長

宮田浩美

皆様こんにちは。宮田でございます。

本日は大変お忙しい中ヒルトップ・セミナーにご出席いただき誠にありがとうございます。

会員構成員企業の皆様方におかれましては、日頃はジェネリック医薬品などの需給調整、また、元日に発生した能登半島地震など、有事の際の緊急対応と平時・有事に関わらず医薬品の安定供給を通じて社会的使命を果たしていただいておりますことに、この場をお借りして改めて感謝を申し上げます。ありがとうございます。

さて、卸連合会では5月に通常総会を行い、環境変化に対応すべく6つの重点課題に取り組んでいくことといたしました。その6つの課題とは、「コンプライアンスの徹底」をはじめ、「持続的な安定供給確保に向けた医薬流通構造の構築」「医薬流通産業形成・DX等の推進」「安定的な医薬品供給の確保」「セルフメディケーションの推進」、そして「広報活動及び国際交流等」でございます。

中でも一丁目一番地となるのが流通改善ガイドラインの改訂でございます。私たち医薬品卸は今まさに、コンプライアンスを徹底しつつ過去からの古い商習慣を一新する節目を迎えており、この改訂への対応が私たち医薬品卸売業界の命運を左右する分水嶺になると思っております。環境が整い私たちにとりましては待ったなしの状況となり

ました。今こそ真に実効性のある流通改善に邁進してまいりたいと思います。

また同時に、私たち医薬品卸の姿や存在意義をもっと世の中に知っていただきたい、そのためにしっかりと業界内外に情報を発信していきたいと考え、4月には卸連合会のホームページを刷新し、広報用パンフレットを制作いたしました。

医薬品卸で働く方々が自信と誇りを持って働ける環境、働き甲斐のある魅力的な産業を目指すとともに、医薬品卸で働きたいと次代を担う若者にも共感してもらえよう、こうした広報活動を一層強化してまいりたいと考えております。

さて、今回のテーマは「**医薬流通産業を取り巻く環境変化と対応策について**」です。

厚生労働省の水谷課長、HITO病院の石川理事長、矢野経済研究所の武田主任研究員、同志社大学の富田教授にご講演をいただきます。

変化を見据えた課題や展望について様々なお立場からのお話により、皆様にとりまして多くのヒントをいただけるものと期待しております。

最後になりますが、今回のセミナーが会員構成員企業ならびに医薬品卸売業界の発展につながりますことを祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。どうぞ一日よろしく願いいたします。ありがとうございました。